

平成18年5月15日

報道関係各位

東北大学理事(研究担当)

庄司 哲雄

第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウムのご案内

東北大学におけるバイオ関連の研究科および研究所における研究成果の産業化を見据えた連携を目指し、第3回東北大学バイオサイエンスシンポジウムを2006年5月29日(月)に仙台(仙台国際センター)で開催いたします。このシンポジウムでは、東北大学の特色を十分活かした生命ネットワーク研究振興など、産学官関係者の関心を集める話題を中心に取り上げていきます。その後、東北大学創立100周年を迎える2007年には新たなバイオサイエンスビジョンを提言する予定です。

日時 : 2006年5月29日(月)10時00分~18時30分

開催会場 : 仙台国際センター

(学内講演者)

北本 哲之(医学系研究科 教授) : プリオン感染の新展開

村山 和隆(先進医工学研究機構 チームリーダー) : 生体高分子の立体構造と機能

末松 智一(環境科学研究科 教授) : 三次元細胞集積化デバイスの開発

鈴木 治(歯科研究科 教授) : 生体模倣人口材料による骨再生の可能性

川島 隆太(加齢医学研究所 教授) : 脳を知り、脳を守り、脳を育む

(学外講演者)

大滝 義弘(バイオフィロンティアパートナーズ社長、東北大学客員教授) : 日本のバイオサイエンスの動向

(特別企画)

若手研究者(6名)による東北大学総長賞、研究科長賞を受賞記念公演を予定しています。

(ポスタセッション)

学内研究者ならびに民間企業研究者によるバイオ関連研究発表(約200演題)が予定されています。

問い合わせ先 : 東北大学病院 後藤順一 電話 022-717-7525